

令和6年度 第1回 八潮市子ども・子育て支援審議会 会議録

会議名	令和6年度 第1回 八潮市子ども・子育て支援審議会
日時	令和6年6月27日(木) 14時00分～15時30分
場所	八潮市役所 2階 多目的室
出席者	13名中10名参加により会議成立
傍聴者	1名

次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 委員長・副委員長の互選について
- 5 議 事 : (1) 保育所待機児童対策について
(2) 古新田保育所の再整備について
(3) 八潮市こども計画(第3期八潮市子ども・子育て支援事業計画)の策定について
- 6 その他
- 7 閉 会

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	(1) 保育所待機児童対策についての説明
委員	【質疑】 資料に記載されている認定こども園の4歳児、5歳児というのは新規の園児ということか。
事務局	認定こども園の年齢別人数は、2号・3号の保育部分となる。新たに保育部分で拡充される部分の人数であると見ていただきたい。補足として、整備計画の定員については、あくまでも予定であり、今後定員構成が変わる可能性があることをご理解いただきたい。
事務局	(2) 古新田保育所の再整備について説明
委員	【質疑】 民間委託ではなく、公立で整備されるとのことだが、保育時間や土曜保育などは決まっているのか。
事務局	保育時間については、今後協議して決めたい。

委員	11 時間保育は確保すると思っていて良いか。土曜日の保育はどうなる予定か。
事務局	11 時間保育は確保する予定でいる。土曜保育については今後内部で協議を行い、調整した後決めていきたいと考えている。
事務局	(3) 八潮市こども計画（第3期八潮市子ども・子育て支援事業計画）の策定についての説明
委員	【質疑】 ニーズ調査票は自分も受け取ったが、封筒に一杯の状態だったので、今後工夫をしていただきたい。また、調査票が届いた数日後に、ハガキのお礼状が届いたが、そこにQRコードがあると、回答率向上に繋がるのではないかと思うので、検討してみてもどうか。
事務局	検討し、次に活かしたいと思う。
委員	現在、お示ししていただいている、骨子案以上の物はないのか。例えば骨子案に記載されている、「出産の希望実現」の箇所が気になっている。今は八潮市に産婦人科がない為に、近隣の市町村に通院することが多いと思う。そのため、通院のための交通費の補助等、具体的な施策を考えているのか、概要程度のものであればお聞かせ願いたい。
事務局	まだ事業レベルで固まっていない為、お見せすることはできないが、不妊・不育症に悩む人への支援や、プレコンセプションケア（将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと）の推進等を、施策の中でどのように盛り込んでいくかということを考えている。
委員	八潮市の地域性なども取り入れると、よりきめ細やかな計画になると思うので、その点も含めて検討願いたい。
事務局	アンケート結果などを踏まえ、地域性のある計画策定を検討していきたい。
委員	教育・保育者の資質という点は、八潮市でも重要視していると思うが、優秀な先生方が他市町村に流れてしまうことも多いように思う。条件面など含めて、子どもと若者の成長を支える担い手の育成支援として、先生になるための支援やケア等、施策で考えている部分はあるのか。
事務局	保育士確保という観点であれば、八潮市では民間の保育士確保が難しい状況になってきており、手当の方も今回拡充する予定となっている。また、市が中心となって、保育士のスキルアップを図ることや、奨学金の補助等も検討している。
委員	保育士の方々からサービス残業が多いと伺うこともあるので、そういった部分の改善にも取り組んでいただければ良いと思う。

委員	<p>法人を運営する立場としては、ガバナンス強化や保育士の育成について、時代に合ったものを考えている。昔の教育や保育は、現在では不適切に近いと言われてしまうことも多い。</p> <p>子供目線ではなく、大人目線で色々なことを考えてしまった弊害であり、今は子供が中心であるという考えをもって、保育を行っていく必要がある。</p> <p>他の自治体の保育所や入園施設からも学び、研修などにも参加して、これからの保育のあり方というテーマでもって、保育士の不足問題と保育士の養成に向き合っていかなければならない。</p> <p>今回の手当の拡充については、これは保育士の資質を上げるためのものだという認識を持ってほしいと各園の方々に説明を差し上げた。保育士の不足解消と資質の向上と共に、少子化の時代に即して、地域で見守り、育てていく、人間力を身に着けていくということが大事になっていくと思われる。</p> <p>また、ご家庭や保護者の方々の協力があって、子供たちが本当の意味で、自分で考えて選択して行動ができる、主体的な活動ができる、そうした保育と教育が実現できると思う。</p> <p>色々な取組が、結果として見えてくるまで時間がかかるとは思いますが、必ず結果が出せるような取組をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>事務局より、八潮市の民間の保育園、小規模保育施設も含めて、保育士手当と研修、奨学金の補助を検討しているという話があったが、保育士手当等は、認可の民間の保育園、小規模保育施設が対象になっている。八潮市内の認可外の保育園に勤めている保育士の方々も出来れば含めていただきたい。八潮市で働いている保育士を八潮市がバックアップする意味で、研修の参加、奨学金返済の支援、保育士手当等も、認可外保育園の保育士の方も含めていただけると、職場定着率が向上すると思われるので、是非とも検討していただきたい。</p>
委員	<p>八潮市内で保育士を育てていくという試みとしては、今の意見が実現できれば素晴らしいと思う。</p>
委員	<p>以前、県立高校で働いていたときは、非常に保育士を希望する生徒が多かった印象だが、その時も学費という面で大変苦勞していた方が多かったように思う。</p> <p>奨学金に関する部分も含めて、八潮市内で子どもを育てていくという意見があったと思うが、その点を是非とも推し進めていただきたい。</p>
事務局	<p>認可外保育園の件については、ご意見として受け取らせていただく。保育士を目指す方の経済的な問題については、今の段階で助成できる制度はないが、公立・民間問わず、保育士を確保することが難しい状況になっていると認識している。</p>

<p>委員</p>	<p>現状行っている施策としては、八潮市の職員で、大学等、学校を巡り、学生の方々に保育士に興味を持っていただけるよう声掛けを行っている。また、保育士募集のリーフレットを作成し、市のイベントや祭りなどの際に、配布し、確保に努めている。こういった活動も行っていることは、皆様にも周知をしていただきたいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートについてだが、こういったアンケートは定期的に行っているのか。また、アンケートの回答率について、今回約5割の回答率があったとのことだが、回答していない方のニーズが不明な状態で結果をまとめてしまっても良いものなのか。</p> <p>アンケートの実施時期については、計画の策定期間に行うものであり、今回は、第3期の子ども子育て支援事業計画（こども計画）を策定する為、行わせていただいた。</p> <p>アンケートの回答率については、今回50%を超えており、近隣自治体を見ても高い部類であると認識している。一般の方から見ると、もう少し回答率があった方が良いのではないかと思われるかもしれないが、統計学上では、信頼度95%、母比率50%（ある設問・選択肢の回答結果が50%という仮定）、許容誤差±5%（50%の回答結果から±5%は上下するという誤差）、という基準があり、その基準に照らし合わせると、回答サンプルは400通程度あれば問題ない。これは、対象者が10万人でも100万人の場合でもほぼ変わらない基準であり、今回、統計学的な意味では、十分に基準は満たしていると言える。</p> <p>前回は、第2次子ども子育て支援事業計画の策定の際に行っており、令和元年にアンケートを実施している。その時の回収率は就学前児童の保護者調査で46.1%、小学生の保護者調査で43.6%であり、今回は前者が52.4%、後者が43.6%と、両アンケート共、前回調査を上回っている。WEB調査を取り入れた結果でもあると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>古新田保育所では、子どもが保育士体験出来るという施策があった。また、市内の中学生に対しても職業体験のような形で、保育士の体験をできる行事があったと記憶している。</p> <p>保育士確保が困難であるという話が出ていたが、もっと多くの方が保育園だけでなく、幼稚園等で職業体験できる機会があると、保育士の魅力などが浸透すると思うので、そういった企画を考えていただけると良いのではないかと思う。</p>
<p>委員 事務局 委員</p>	<p>不登校の対策として、八條小学校でフリースクールのようなものを実施していたと思うが、他の場所でも実施しているのか。</p> <p>八條小学校内教育相談所でフレンドスクールを実施している。</p> <p>他の場所でも実施していないのだとしたら、もっと多くの場所でも実施できるようになれば良いと思う。</p>

委員	<p>自分は、保護者代表としてこの場に来ているが、また幼稚園教諭として働いている。議論に上がっていた保育士不足は、現場でも感じている。園では働き方改革や、先生各人の負担が緩和するように、色々と工夫をしているところではある。この場で色々な立場の方からの話が聞けて、大変参考になった。</p>
委員	<p>保育士体験の話が出ていたが、社会福祉協議会でも、今週末より、ボランティア体験プログラムというものが始まる。その中で保育園・幼稚園のメニューがあるが、実は毎年かなり人気があり、募集の初日から社会福祉協議会の前に行列が出来てしまう状態で、倍率が高い。社会福祉協議会の立場から見ると、保育士はとても人気のある職種であると認識していた。ボランティア体験後のアンケートでも、好評な回答が多い。</p>
委員	<p>金銭面の問題はあるものの、仕事の魅力を発信というものはものすごく大事だということを、今回の会議に参加していて感じた。仕事の魅力の発信というものに、今後も取り組んでいただければと思う。皆様からの意見等を伺うことができ、非常に有意義な会議になったと思う。以上をもって、本日の議事は終了とする。</p>